

CS こひつじ科礼拝式次第

2022年3月6日 午前9時30分

2022年度年間テーマ：「イエス様の祈り『主の祈り』によって、祈ることを身につけよう」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

暗唱聖句：「信仰とは、望んでいる事柄を確信し、見えない事実を確認することです。」

ヘブライ人への手紙11章1節

11、うれしいあさよ（こどもさんびかをお用いください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ ヨハネの黙示録5：13

また、わたしは、天と地と地の下と海にいるすべての被造物、そして、そこにいるあらゆるものがこう言うのを聞いた。

「玉座に座っておられる方と子羊とに、賛美（さんび）、誉れ（ほまれ）、栄光（えいこう）、そして権力（けんりょく）が、世々限りなくありますように。」

おはなし

「神さまをほめたたえよう」

星野房子先生

今年の教会学校では、イエス様がこう祈りなさいと教えてくださった主の祈りを聖書のマタイによる福音書から学んでいます。主の祈りの最初に、「天にまします我らの父よ」と、呼びかけていますね。天にいらっしゃる神さまを「天にいらっしゃる私たちのお父さん」と、呼べるのは、ただただ神さまの恵みによるのです。神さまの愛によって、イエス様による罪からの救いを信じる神の子とされたからです。そして、主の祈りでは、天地万物を創られた唯一の生ける神さまに祈ります。神様を賛美して祈り、この地上でも神さまのみ心が行われるようにと祈ります。わたしたちに必要な食べ物、着る物、住む家も、私たちがどのように毎日過ごしたらよいのか、私たちに何が必要かを神様さまに祈ります。神さまがわたしたちの祈りを聞き届けてくださるのは、天と地を創られた方であり、救い主である神さまだからです。私たちが祈り求める神さまは、私たちが神さまの子どもとして愛していただく天のお父さんなのです。そして最後の部分は「国と力と栄えとは 限りなく汝のものなればなり アーメン」です。

今日は聖書の最後にある「ヨハネの黙示録」というところからのお話です。今日のみ言葉には、天国において、天国に集められた天使とクリスチャンたちが、神さまをほめたたえ、賛美する様子が語られています。数え切れないほどたくさんの天使たちが集まって賛美しています。天国では言葉も生きていた国も違うけれども、ここに集った人々は、一つとなって神さまをほめたたえて賛美することができるのです。私たちが救い、復活の体を与え、天国における永遠の生命と祝福に入れてくださったのは神さまだからです。天国に集うすべての人たちが、この神さまの救いに入れられ、喜びに満たされているのです。だからこそ、天国に集うすべての人々が、一つとなって、神様に感謝と喜びをもって、賛美の歌を歌うことができるのです。

「玉座に座っておられる方と子羊とに、
賛美（さんび）、誉れ（ほまれ）、栄光（えいこう）、そして権力（けんりょく）が、
世々限りなくありますように。」
と、賛美の声をあげます。

「玉座に座っている方」とは、父なる神さまのことです。「子羊」とは私たちのために十字架にかかって、私たちの罪のために死んでくださった神の御子イエス・キリストです。神さまは今も全世界を治めておられ、私たちが天国に導かれるために、私たちに恵みのうちに守ってくださいます。私たちは、私たちに救い、私たちの祈りを聞き届けてくださる神さまの御国が完成すること、御力、御栄が永遠にありますようにとお祈りします。

私たちが賛美する方はただおひとりです。そのことが一番よくわかる場所は、主の日の礼拝です。教会は2000年もの間、どんなことがあっても礼拝をやめることなく、神さまの言葉を聞き続け、賛美の歌を歌い続けてきました。私たちも主の日の礼拝において、天国の前味をいただきましょう。今はコロナという疫病のために、教会の礼拝堂で、みんなが一緒に集まって礼拝をささげられていません。でも、礼拝堂にいる人も、ZOOMで礼拝する人も、場所は違っていても、全世界の人たちがささげる礼拝は、神様の国の祝福であることを覚えていてください。

主の祈りでは、最後に心を神さまに向けてお祈りします。「国と力と栄えとは 限りなく汝のものなればなり アーメン」と、祈りつつ、主の祈りを閉じるのです。わたしたちも、神さまを信じながら祈り続け、主の祈りの最後の部分が教えるように、神さまに心に向けて「神さまをほめたたえる」お祈りをしましょう。

み心によって、本当に必要なことを祈る祈りを聞いて、応えてくださる神さまに感謝して、神さまを賛美し、ほめたたえましょう。

子どもカテキズム

問85 「国と力と栄とは、限りなくなんじのものなればなり。アーメン」という結びの言葉は、なにを意味していますか。

答 私たちの神さまが、必ず勝利し、
このお祈りをかなえてくださる力ある神さまであることを
喜びと感謝、信仰をもって言い表すのです。（前半のみ）

* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

（けんきん）会堂2階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

78、ハレルハレル（こどもさんびかをお用ください）